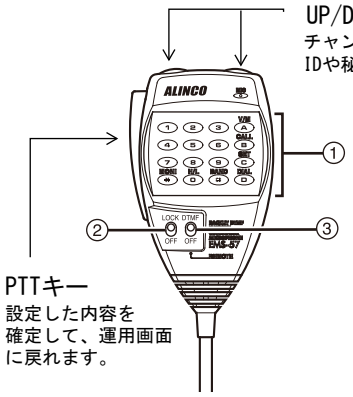
DR-DPM60　別売マイクEMS-57の操作について

【ご注意】
EMS-57は従来のアマチュア無線機向けにDTMFトーンを送出することを主目的として開発された製品です。M60では下記のような操作ができますが、機能全てをカバーするものではありません。下記の動作は確認していますが、新に発見されたバグの修正等ができないので正規品アクセサリーとしての製品対応保証はしておりません。

■各部の名称と機能



No.	名称	機能
①	数字キー	リモコンコマンドやＣＨ を入力します。
②	ロックスイッチ	ＰＴＴ以外のキーを全てロックします。
③	DTMF/REMOTE スイッチ	リモコン操作をする時は ＯＦＦ 側にセットします。

ロック中はバックライトも消えます。DTMF側にするとバックライトは点灯したままですが、リモート操作はできません。（弊社製アナログ無線機のＤＴＭＦ信号送出用です。）

■リモコンキー一覧

キー	本体対応キー	動作	M60説明書
0～9	－	ＣＨ ダイレクト入力	P.13
A	_	プライベートＣＨ	P.19
B	-	呼び出し15CH	同上
C	機能	セットモードの呼び出し（注1）	P.12,25
D	戻る	戻るキー操作	P.12,15(基本の操作)
＊	‐	モニター機能	P.19
＃	CHキー長押し	短縮設定の機能	P.12,21
0	_	送信出力の切り替え / 2度押しします。	P.25,29

（注１）秘話コードや自局IDなどの数字を設定するとき、桁を移動させるのにも使います。
セットモードのメニュー切り替えはUP/DOWNキーを使います。

■操作の例

■チャンネルの直接入力

0～9の数字キーでチャンネル番号を入力します。チャンネルが01～03chの時は「0」を押してからチャンネルの番号を入力します。4ch以上は1回のキー入力でチャンネルを設定することができます。

例
・3chに設定したい場合…「0」を押した後に「3」を押します。
・8chに設定したい場合…「8」を押します。
・28chに設定したい場合…「2」を押した後に「8」を押します。

【参考】「0」を2回連続して入力すると送信出力が切り替わります。
チャンネルはマイクのUP、DOWNキーで1chずつ変更することができます。

■操作の例とトラブルシューティング

■プライベートチャンネル、呼び出しチャンネル(15ch)の切り替え

・A(V/M)キーを押すと、予め設定したプライベートチャンネルに切り替えることができます。
　予めプライベートチャンネルを設定しておかないと動作しません。
・B(CALL)キーを押すことで呼び出しチャンネルへ切り替えることができます。
　Aキー、Bキー共に同じ操作を繰り返すと元のチャンネルに戻ります。

■その他の便利な操作

・*キーを押すことでモニター動作となり、他局やチャンネルの状況を確認することができます。
・#キーを押すことで設定されている短縮動作をさせることができます。
・C(SET)キーは本体の「機能」、またD(DIAL)キーは本体の「戻る」キーとほぼ同じ動作となるため、UP/DOWNキーを併用して各種の設定を行うことができます(長押しは機能しません)。
・誤操作防止のためにキーの動作を止めたい場合はLOCKスイッチを上へスライドさせます。

【参考】ユーザーコードや秘話コードの数字入力に数字キーは使用できません。
　　CキーやUP/DOWNキーを使えば手元で設定できます。

■個別、グループ 、全局呼び出しの設定 (UDキーはUP/DOWNキーを指す)

① 本体の機能キーを押しながら電源を入れ、拡張機能を有効にしておきます。
② C、DキーとUDキーを操作して「個別設定」から自局IDやグループを設定します。
　※ Cは機能、Dは戻る、UDは設定項目の上下移動、オンオフや数字を切り替えられます。
　※ 必要に応じ「通信設定」のユーザーコードも設定します。
③「個別設定」の「個別通信動作」をオンに、「ダイヤル動作設定」を「通信相手選択」に設定します。同じく「通信相手選択」でCキーを何度か押し、「グループ」「全局」「個別」のいずれかが点滅しているときにUDキーでグループか個別を選びます。PTTキーを押して運用画面に戻ります。
④ EMS-57のUDキーを押すと、グループ番号や個別番号を切り替えられます。全局、を選ぶと一斉呼び出しするため、UDキーは効きません。

■トラブルシューティング

　リモコン操作は、DR-DPM60の基本操作をマイクのボタンで行うもので、何か新しい機能を追加するものではありません。しばらくお使いになれば慣れて使い方が分かりますので、操作方法について弊社にお尋ねになることはお控えください。説明通りに動作しないときは下記をご参照ください。
　このマイクはエレクトレット・コンデンサ型で、オリジナルのEMS-61ダイナミック型とは異なります。このため音質や変調が変わって聴こえることがあります。変調度はセットモード「送信設定」の「マイク感度」で調整できます。

・数字キーで10ch未満が入力できない →「0」を押してからチャンネル番号のキーを押す
・チャンネルの入力ができない → 呼び出しか、プライベートチャンネルに設定されている
・呼び出しチャンネルが呼び出せない → プライベートチャンネルが設定されている
・プライベートチャンネルが呼び出せない → 呼び出しチャンネルが設定されている
・A～Dのキーを押しても操作できない → 本体がキーロックされている
・「0」キーを2回押しても送信出力が変わらない → 本体がキーロックされている
・#キーを押すと「ブブブ」音がする → 短縮動作がオフに設定されている、または本体がキーロックされている
・キーを押しても何も動かない → EMS-57がロックされている
・本体をキーロックしているのにチャンネルが変わる → EMS-57もLOCK側に設定する
　※本体をキーロックしていても、EMS-57のチャンネル設定とモニター機能は使えます。

■ 修理について

EMS-57は修理も承ることができますが、技術料と部品代、発送手数料など諸掛を含めるとお買い換えになるほうがリーズナブルです。マイクケーブルやプラスチックケース、PTTキーのような小物はスペア部品として販売が可能です。EMS-57をお求めになった無線機販売店にご相談ください。